



四 気 折 々

川越町立川越中学校
「学校だより」
第53号
令和5年3月24日
新学期以降のマスクの取り扱い

四気=川越中学校訓 「やる気 ほん気 こん気 げん気」
学校教育目標 『自立した生徒の育成 -自律・調和・創造-』のもと
・自分を大切にする ・他者を大切にする ・粘り強くやり切る 生徒
・人を大切にする ・安全で安心できる ・地域や保護者とともにある 学校 づくりを目指します

新学期4月6日（木）以降の学校生活におけるマスクの取り扱いについて
マスクの着用は「個人の判断」が基本(マスクの着用を求めないことを基本)
となりました。
～「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」が改訂されます～
マスクの着用の有無が、差別や偏見につなげることがない学校生活に向けて…

3月17日（金）文部科学省は「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」を改定し、新学期以降の学校生活におけるマスク着用の考え方等が見直されました。保護者の皆さま方も、生徒のみなさんも、ニュース等で既に部分的に知っていると思いますが、文部科学省の「新学期以降の学校の学校におけるマスク着用の考え方を見直しについて」の通知を受け、川越町教育委員会からの指針について、次のように掲載します。

1 マスク着用の考え方を見直しについて

【基本的な考え方】

- 生徒及び教職員については、学校教育活動に当たって『マスクの着用を求めないことを基本とする』
- 遠足等で混雑した電車やバスを利用する場合や、校外学習等において医療機関や高齢者施設を訪問する場合など、マスク着用が推奨される場面においては、生徒及び教職員についても着用が推奨される。
- 基礎疾患があるなど様々な事情により、感染不安を抱き、マスクの着用を希望したり、健康上の理由によりマスクを着用できない生徒もいたりすることなどから、学校や教職員がマスクの着脱を強いることはしない。そして、生徒間でもマスクの着用の有無による差別・偏見等がないように指導を行う。
- 学校教育活動の中で、「感染リスクが比較的高い学習活動」の実施にあたっては、活動の場面に応じて、一定の感染症対策を講じることが望ましい。部活動において同様の活動を実施する場合でも同様である。
- 新型コロナウイルス感染症に限らず、季節性インフルエンザ等も含め、感染症が流行している場合などには、教職員がマスクを着用する又は、生徒に着用を促すことも考えられるが、そういった場面においても、マスク着用を強いることのないようにする。
- 咳やくしゃみの際には、咳エチケットを行うよう生徒に指導する。

2 効果的な換気の実施について

- 「マスク着用の考え方を見直し等について」においては、「・・・基本的な感染症対策は重要であり、引き続き、「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等の励行をお願いします」とされています。学校生活においても、引き続き、効果的な換気の実施を進めていく。

3 給食等の食事をする場面における対策について

- 給食等の食事の場面においては、食事の前後の手洗いを徹底するとともに、会食に当たっては、飛沫を飛ばさないように注意する。
- 適切な換気を確保するとともに、大声での会話控える。食事の時は、机を向かい合わせにしないことを基本とするため、生活班での体形での食事は行わない。しかし、「黙食の必要はない」。

春休み中も「毎日の健康観察を継続」して行います。健康観察記録表は、4月6日(木)始業式に提出してもらいます。4月以降も継続して健康観察を実施していきます。ご協力をお願いします。

